

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-269144

(43)Date of publication of application : 09.10.1998

(51)Int.Cl.

G06F 12/14

G06F 12/14

G06F 12/00

(21)Application number : 09-070093

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 24.03.1997

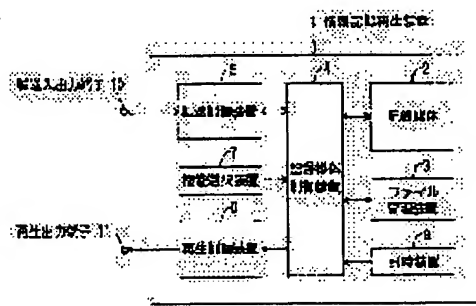
(72)Inventor : HANEDA NAOYA

(54) INFORMATION RECORDING AND REPRODUCING METHOD AND ITS DEVICE, INFORMATION PROVIDING METHOD AND ITS DEVICE, AND INFORMATION RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To add a limitation to the reproduction operation and copy operation in accordance with an information property, and to use copyright within the range of the purpose.

SOLUTION: The information recording and reproducing device 1 consists of the recording medium 2, a file managing device 3, a recording medium controller 4, a transfer controller 5 which controls the input-output of a file through a transfer input-output terminal 10, a reproducing controller 6, which reproduces a file recorded on the medium 2 and output it to a reproducing output terminal 11, a function selecting device 7, with which a user of the device 1 selects his desired function such as a transfer output or a reproduction output and inputs and a clock device 8 which has a clock function. Reproduction limitation information and transfer limitation information to corresponding information are recorded on the device 3 and the reproduction and transfer of information is performed based on the limitation information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

17.03.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-269144

(43) 公開日 平成10年(1998)10月9日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I
G 0 6 F 12/14	3 1 0	G 0 6 F 12/14
	3 2 0	
12/00	5 3 7	12/00

審査請求 未請求 請求項の数36 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平9-70093

(22) 出願日 平成9年(1997)3月24日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 羽田 直也

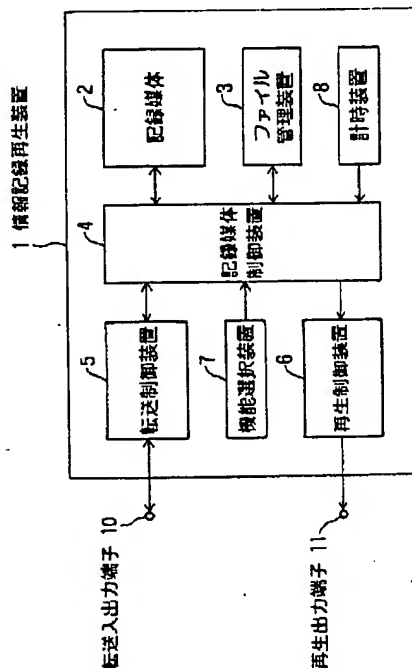
東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー株式会社内

(54) 【発明の名称】 情報記録再生方法とその装置および情報提供方法とその装置ならびに情報記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 情報の性質に応じて再生操作やコピー操作に制限を加え、目的の範囲において著作権の使用を可能にした情報記録再生方法とその装置および情報提供方法とその装置ならびに情報記録媒体の提供を目的とする。

【解決手段】 情報記録再生装置1は記録媒体2とファイル管理装置3と記録媒体制御装置4と転送入出力端子10を介したファイルの入出力を制御する転送制御装置5と記録媒体2に記録されているファイルを再生して再生出力端子11へ出力する再生制御装置6と情報記録再生装置1の使用者が転送出力あるいは再生出力等の所望の機能を選択して入力する機能選択装置7と時計機能を有する計時装置8から構成されている。ファイル管理装置3には対応する情報に対する再生制限情報と転送制限情報とが記録されていて、この制限情報に基づいて情報の再生、転送を行う。



キスト等)、容量、転送時刻、後述する再生制限情報、コピー制限情報等の情報が含まれ、データ部はヘッダ部で示されるタイプのデータで構成されている。従って、前記記録媒体制御装置4はファイルの転送入力時にヘッダ部を分離し、データ部のみを記録媒体2に記録すると共に、データ部の記録位置等の情報をヘッダ部に付加してファイル管理装置3に記録する。

【0039】ここで、再生制限情報とは、そのファイルに対する再生処理を許可するための情報であり、再生有効回数、再生有効時間、再生有効期限等を意味する。同様に、コピー制限情報とは、そのファイルに対するコピー処理を許可するための情報であり、コピー有効回数やコピー有効期限等を意味する。これら再生制限情報やコピー制限情報は情報提供装置21よりファイルを購入する際、料金に応じて指定する。

【0040】一方、機能選択装置7により、記録媒体2に記録されているファイルを読み出して転送出力端子10に転送出力するように指定された場合、まず、情報記録再生装置1の利用者は表示装置(図示せず)に表示されるファイル管理装置3の管理情報を参照して転送出力するファイルを指定する。つぎに、記録媒体制御装置4は、ファイル管理装置3の管理情報に基づいて、指定されたファイルを記録媒体2からデータ部を読み出してヘッダ部を付加すると共に、ファイル管理装置3のコピー制限情報を変更する。その後、転送制御装置5が上述した転送プロトコルを実行することにより、当該ファイルを転送出力端子10より出力する。

【0041】ここで、コピー制限情報がコピー有効回数を示すものであれば、その値から転送出力毎に「1」が減じられ、それ以後のコピー可能な回数として再設定される。このとき、転送出力するファイルのヘッダ部のコピー制限情報としてコピー禁止を設定することにより、当該ファイルが更に他の情報記録再生装置にコピーされることを阻止することができる。一方、転送出力されるファイルのコピー制限情報が、元より無制限のコピーを許可している場合は、コピー制限情報はそのままの無制限のコピーを許可した状態で転送される。

【0042】また、転送出力をする場合にコピー制限情報に替わって、再生制限情報を使用することも可能である。情報記録再生装置1の利用者は、転送先の他の情報記録再生装置に与える再生制限情報を機能選択装置7で指定し、記録媒体制御装置4は、指定回数を転送元である情報記録再生装置1の再生制限情報より減じる。例えば、転送元の再生制限情報として5回の再生が許可されていて、転送先の再生回数を2回とした場合、記録媒体制御装置4は転送出力ファイルの再生制限情報として値2を設定して転送し、一方、転送元のファイル管理装置3の再生制限情報を値3に変更する。これにより、転送先の情報記録再生装置では2回の再生が、また転送元の情報記録再生装置1では3回の再生が可能となり、全体

として許可されている5回の再生が保存される。

【0043】また、機能選択装置7において、記録媒体2に記録されているファイルを再生して再生出力端子11に出力するように指示された場合、まず、情報記録再生装置1の利用者は、表示装置(図示せず)に表示されるファイル管理装置3の管理情報を参照して再生出力するファイルを指定する。つぎに、記録媒体制御装置4はファイル管理装置3の管理情報に基づいて指定されたファイルのデータ部を読み出すと共に、ファイル管理装置3の再生制限情報を変更する。そして、再生制御装置6が当該ファイルに対して再生処理を実行した後に再生出力端子11より出力する。

【0044】ここで、上記再生処理としては、記録媒体2に記録されている情報の種類に依存し、何らかの符号処理を施されたものであれば、それに対応する復号化処理を実行する。例えば、記録媒体2のファイルがMPEG(Moving Picture ExpertsGroup)規格に準拠したアルゴリズムでエンコードされていれば、再生制御装置6は同規格のアルゴリズムでファイルをデコードすることになる。

【0045】ここで、再生制限情報は再生有効回数を示すものであれば、その値から再生毎に「1」が減じられ、それ以後の再生可能な回数として再設定される。一方、再生制限情報が、元より無制限の再生を許可している場合は、再生制限情報はそのままの無制限の再生を許可したままとなる。

【0046】また、再生制限情報として再生有効時間を使用することも可能である。この場合、記録媒体制御装置4はファイルを記録媒体2から読み出すと共に、計時装置8により計測された再生時間をファイル管理装置3の再生有効時間より減じ、これを再生可能な時間として再度設定する。

【0047】更に、再生制限情報として再生有効期限を使用することも可能である。この場合、記録媒体制御装置4は記録媒体2からファイルを読み出す前に、計時装置8の時刻と再生有効期限とを比較し、有効期限内であれば読み出し制御を開始することになる。

【0048】記録媒体制御装置4は再生有効回数や再生有効時間が設定されている場合、この制限に達する(即ち、値0となる)か、または再生有効期限が設定されている場合、これが経過すると対応するファイルを自動的に消去する。勿論、ファイル管理装置3にファイルの有効または無効を示すフラグを設け、消去制御を実行する代わりに当該フラグを無効に変更するようにしてもよい。また、コピー有効回数が設定されている場合、この回数が制限に達する(即ち、値0となる)か、またはコピー有効期限が設定されている場合、この期限が経過していると、記録媒体制御装置4は対応するファイルについて、以後の転送出力を止めコピーを禁止する。

【0049】以上に述べた情報記録再生装置1における

動作は、ファイルの転送先の情報記録再生装置においても同様である。即ち、転送元である情報記録再生装置1のコピー制限情報や再生制限情報によって上述したような制限が与えられている場合、その制限の一部、もしくは全部を転送ファイルのヘッダ部に記述することによって、コピーや再生の実行権利を転送先に譲渡することも可能である。この場合、転送先に譲渡した実行権利に相当するものが、転送元である情報記録再生装置1のコピー制限情報や再生制限情報から減じられる。

【0050】また、コピー制限情報と再生制限情報との組み合わせにより、情報の様々な使用方法が考えられる。例えば、コピー可能回数を3回、再生可能回数を5回と指定したファイルが記録された情報記録再生装置からは、最大3機の情報記録再生装置へのコピーが可能であり、延べ再生回数は5回まで可能である。

【0051】また、コピー制限情報でコピーを禁止し、再生制限情報で再生を無期限に許可することにより、現存のパッケージメディアと同様に情報を取り扱うことが可能となる。また、コピー制限情報でコピーを禁止し、再生制限情報で再生有効期限を設定することにより、現存のレンタルシステムと同様に情報を取り扱うことが可能となる。また、コピー制限情報および再生制限情報とを共に無制限に許可することにより、広告と同様に情報を取り扱うことが可能となる。更に、これらの制限情報の設定に応じて情報の対価を決定することも可能である。

【0052】つぎに、本発明に係わる情報提供装置について図2を参照して説明する。情報提供装置21は記録媒体22と、記録媒体22に記録されているファイルを管理するファイル管理装置23と、ファイル管理装置23に基づき記録媒体22に対してファイルの読み出し制御を実行する記録媒体制御装置24と、転送入出力端子26を介してファイルの出力を制御する転送制御装置25と、ファイル管理装置23を参照し、記録媒体22に記録されているファイルの名前、属性、価格等の一覧を表示する表示装置27と、表示装置27を併用し、情報提供装置21の使用者が転送出力するファイルを選択して入力する出力選択装置28と、時計機能を有する計時装置29から構成されている。

【0053】まず、情報提供装置21の使用者は表示装置27を参照して転送出力するファイルを出力選択装置28で指定する。つぎに、記録媒体制御装置24はファイル管理装置23に基づいて、指定されたファイルのデータ部を記録媒体22から読み出すと共に、上述した再生制限情報やコピー制限情報を含むヘッダ部を付加する。その後、転送制御装置25が転送プロトコルを実行することにより、当該ファイルを転送入出力端子26より出力する。

【0054】ここで、表示装置27にはファイル管理装置23に記録されている管理情報、即ち、記録媒体22

に記録されているファイルの名前、種類、容量、価格等を表示することが可能である。また、再生有効回数を1回と指定されたファイルは、再生有効回数を無制限と指定された同じファイルよりも安価に提供することが考えられ、このように指定された再生制限情報やコピー制限情報に基づいた価格等を表示してもよい。

【0055】また、再生有効回数およびコピー有効回数を予め無制限に設定したファイルを低価格、もしくは無料で提供することによって、宣伝広告を含むファイル等を広く配付することも可能である。

【0056】尚、上述した操作を行う出力選択装置28と管理情報を表示する表示装置27とのシステム例としては、液晶ディスプレイとタッチパネルを用いたものが好適である。

【0057】図2においては、記録媒体制御装置24および転送制御装置25は転送出力専用として示されているが、記録媒体22のファイルを書き換えるために、新たなファイルを転送入出力端子26から入力し、転送制御装置25および記録媒体制御装置24を介して記録媒体22に記録することも可能である。

【0058】情報記録再生装置1および情報提供装置21の記録媒体2、22としては、ランダム・アクセスが可能な半導体メモリ媒体やディスク媒体を用いることにより情報の読み書きを高速で実行できる。また、情報保持のための電源が不要である不揮発性メモリを用いることにより、情報記録再生装置1は一層の小型化が可能になり携帯性に富むシステムが構成できる。不揮発性メモリとして、例えばフラッシュ・メモリ等の書き換え可能なメモリを用いることができる。

【0059】つぎに、情報記録再生装置1におけるファイルの転送入力制御を実行する場合の動作の流れを図3を参照して説明する。

【0060】まず、ステップS101において、情報記録再生装置1の使用者が機能選択装置7でファイルの転送入力を実行するように指定するか、または転送入出力端子10より転送入力されるファイルを検出した場合、ステップS102で転送制御装置5がファイルの転送入力を開始する。つぎのステップS103において記録媒体制御装置4は、転送入力されるファイルをヘッダ部とデータ部に分離し、ステップS104でデータ部を記録媒体2に書き込む。続いてステップS104で書き込んだデータに関する管理情報、例えば、容量や記録位置などを、つぎのステップS105においてファイル管理装置3に記録すると共に、ステップS106でデータ部に関連するヘッダ部をファイル管理装置3に記録してファイルの転送入力制御の実行を終了する。

【0061】つぎに、情報記録再生装置1におけるファイルの転送出力制御を実行する場合の動作の流れを図4を参照して説明する。

【0062】まず、ステップS201において、情報記

録再生装置1の使用者は機能選択装置7でファイルの転送出力を実行するように指定し、ステップS202において転送出力するファイルを指定する。つぎのステップS203において記録媒体制御装置4は、指定されたファイルに対応するヘッダ部をファイル管理装置3から読み出し、制限情報で転送出力が許可されているか否かを、つぎのステップS204で判断する。このとき、記録媒体制御装置4は制限情報が時間情報であれば計時装置8を監視する。

【0063】ステップS204で転送出力が許可されていないと判断した場合(N o)、転送出力制御を中止し、終了する。一方、転送出力が許可されていると判断した場合(Y e s)、つぎのステップS205において、記録媒体制御装置4はステップS202で指定したファイルに対応するデータ部を記録媒体2から読み出す。つぎのステップS206において記録媒体制御装置4はステップS203で読み出したヘッダ部に基づいて転送出力ファイル用のヘッダ部を作成し、ステップS205で読み出したデータ部と結合して転送出力ファイルを完成させる。つぎのステップS207では当該ファイルを転送制御装置5が転送入力端子10より転送出力する。最後にステップS208において、記録媒体制御装置4が必要に応じて制限情報を更新してファイル管理装置3に記録してファイルの転送出力制御の実行を終了する。

【0064】つぎに、情報記録再生装置1におけるファイルの再生出力制御を実行する場合の動作の流れを図5を参照して説明する。

【0065】まず、ステップS301において、情報記録再生装置1の使用者は機能選択装置7でファイルの再生出力を実行するように指定し、ステップS302で再生出力するファイルを指定する。つぎのステップS303において記録媒体制御装置4は、指定されたファイルに対応するヘッダ部をファイル管理装置3から読み出し、続くステップS304で対応するデータ部を記録媒体2から読み出す。

【0066】つぎのステップS305において、再生制御装置6はステップS304で読み出したデータに対する再生処理を実行すると共に、再生データをつぎのステップS306で再生出力端子11から再生出力する。

【0067】つぎのステップS307において、記録媒体制御装置4は必要に応じて再生の制限情報を更新し、つぎのステップS308で、再生の制限情報によって再生出力が許可されているか否かを判断し、許可されている場合(Y e s)は、更新した再生の制限情報をファイル管理装置3に記録し、終了する。このとき、記録媒体制御装置4は再生の制限情報が時間情報であれば計時装置8を監視する。一方、許可されていない場合(N o)は、つぎのステップS309において対応するファイルの消去制御を実行してファイルの再生出力制御の実行を

終了する。

【0068】上述した情報記録再生装置1や情報提供装置21の記録媒体として、記録されている所定の情報に対して読み出し操作を制限する制限情報が記録されている情報記録媒体を用いることができる。この情報記録媒体には上述したようにファイル管理装置3に記録される種々の制限情報、即ち、再生出力操作の有効回数、有効期限、有効時間、および転送出力操作の有効回数、有効期限、有効時間等が記録されているものである。また、この情報記録媒体は読み出し専用の記録媒体、および半導体メモリ、光磁気ディスク、磁気ディスク等で構成されているものが好適である。

【0069】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明の情報記録再生方法とその装置および情報提供方法とその装置ならびに情報記録媒体によると、様々な情報を情報提供装置から個人の所有する情報記録再生装置に転送する際、その情報の性質に応じて再生やコピー等の操作を制限する回数や時間等に関する制限情報をその情報に付加することにより、情報の違法コピーを防止すると共に、情報の共有や伝達を行うことが可能である。

【0070】また、制限情報の様々な組み合わせにより情報の商品価値を決定することができ、情報の流通に対する効果が大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係わる情報記録再生装置の概略構成を示すブロック図である。

【図2】 本発明に係わる情報提供装置の概略構成を示すブロック図である。

【図3】 本発明に係わる情報記録再生装置におけるファイルの転送入力動作を示すフローチャートである。

【図4】 本発明に係わる情報記録再生装置におけるファイルの転送出力動作を示すフローチャートである。

【図5】 本発明に係わる情報記録再生装置におけるファイルの再生出力動作を示すフローチャートである。

【図6】 従来の情報記録再生装置の外観図である。

【図7】 従来の他の情報記録再生装置の外観図である。

【図8】 従来の情報提供装置の外観図である。

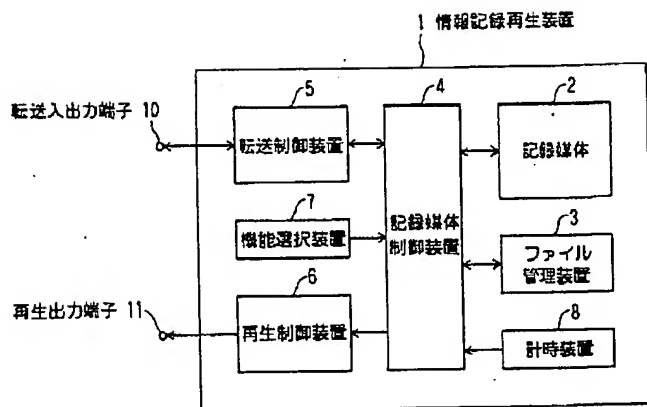
【図9】 従来の他の情報提供装置の外観図である。

【符号の説明】

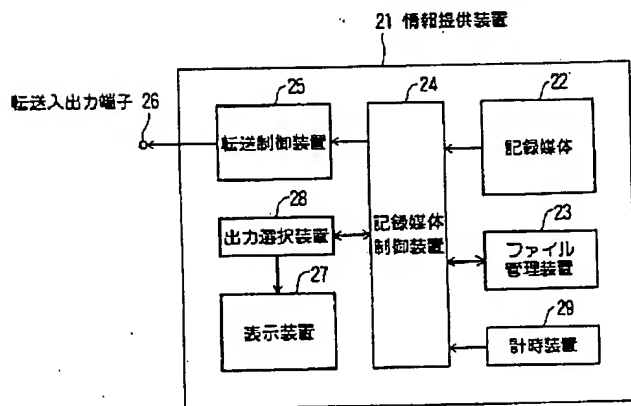
1, 31, 41…情報記録再生装置、2, 22…記録媒体、3, 23…ファイル管理装置、4, 24…記録媒体制御装置、5, 25…転送制御装置、6…再生制御装置、7, 33…機能選択装置、8, 29…計時装置、10, 26…転送入力端子、11…再生出力端子、21, 51, 61…情報提供装置、27…表示装置、28…出力選択装置、32, 32a, 32b…結合端子、34…イヤホン、42, 62…情報記録装置、43…情報再生装置、44…挿入排出口、52…出力選択装置、6

3…挿入口、6 4…排出口、6 5…使用者

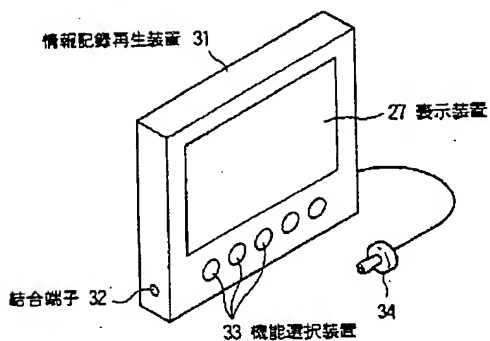
【図1】



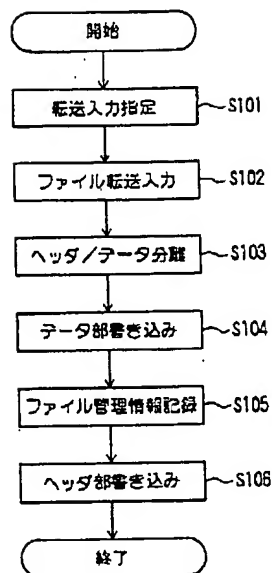
【図2】



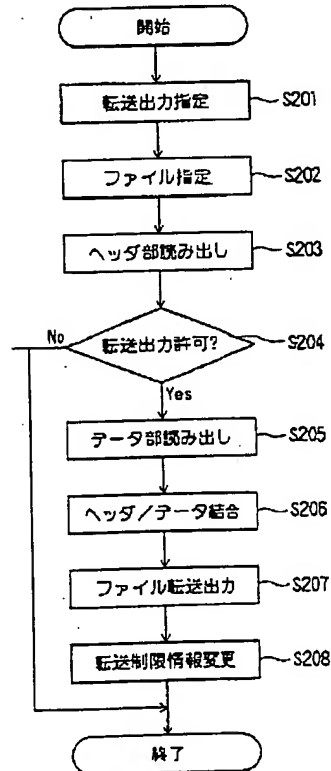
【図6】



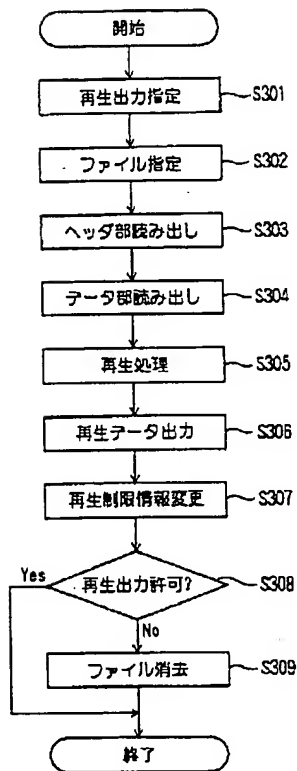
【図3】



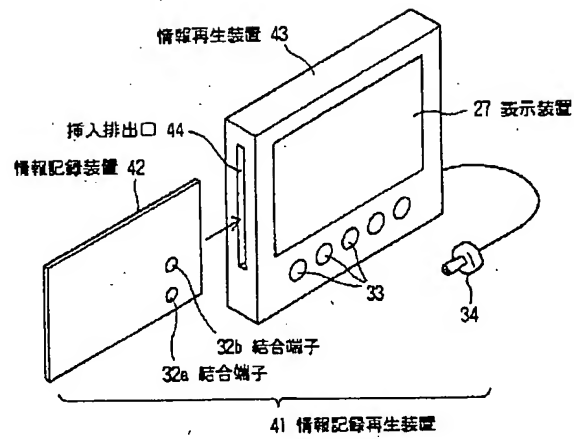
【図4】



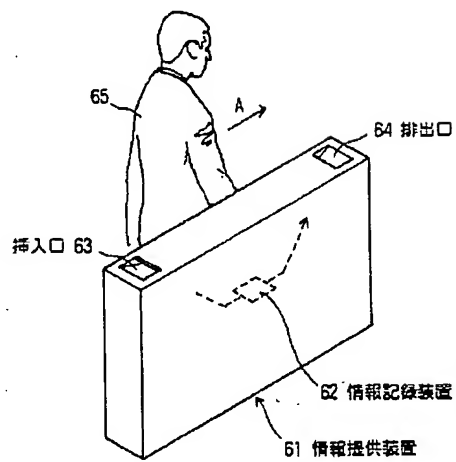
【図5】



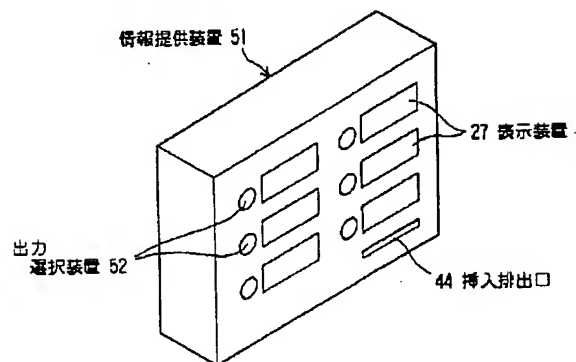
【図7】



【図9】



【図8】



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成15年7月4日(2003.7.4)

【公開番号】特開平10-269144
【公開日】平成10年10月9日(1998.10.9)
【年通号数】公開特許公報10-2692
【出願番号】特願平9-70093
【国際特許分類第7版】

G06F 12/14 310
320
12/00 537

【FI】

G06F 12/14 310 K
320 F
12/00 537 M

【手続補正書】

【提出日】平成15年3月17日(2003.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】 情報記録方法とその装置および情報提供方法とその装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報の書き換えが可能な記録媒体と、
該記録媒体に記録されたファイルを管理するファイル管理手段と、
該ファイル管理手段に基づいて前記記録媒体を制御する記録媒体制御手段と、
該記録媒体制御手段が前記記録媒体から読み出したファイルを再生する再生制御手段と、
再生されたデータを出力する再生出力端子と、
時計機能を有する計時手段と、
情報提供装置、または他の情報記録再生装置に接続する転送入出力端子と、
該転送入出力端子から入出力されるファイルを前記記録媒体制御手段に送受する転送制御手段と、
更に、少なくとも、ファイルの転送入力、転送出力、再生出力を選択する機能選択手段とを具備して構成することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項2】 情報の書き換えが可能な記録媒体と、該

記録媒体に記録されたファイルを管理するファイル管理手段と、該ファイル管理手段に基づいて前記記録媒体を制御する記録媒体制御手段と、該記録媒体制御手段が前記記録媒体から読み出したファイルを再生する再生制御手段と、再生されたデータを出力する再生出力端子と、時計機能を有する計時手段と、情報提供装置、または他の情報記録再生装置に接続する転送入出力端子と、該転送入出力端子から入出力されるファイルを前記記録媒体制御手段に送受する転送制御手段と、更に、少なくとも、ファイルの転送入力、転送出力、再生出力を選択する機能選択手段とを具備して構成した情報記録再生装置において、
該情報記録再生装置の記録媒体制御手段により、記録媒体に制限情報を記録すると共に、記録された制限情報に基づいて、前記記録媒体からの情報の読み出し操作を制限することを特徴とする情報記録再生方法。

【請求項3】 前記制限情報は再生出力操作の有効回数であって、前記記録媒体制御手段は再生出力毎に再生出力回数を累計すると共に、当該累計回数が有効回数を超過する場合、対応するファイルの管理情報を無効にすることを特徴とする、請求項2に記載の情報記録再生方法。

【請求項4】 前記制限情報は再生出力操作の有効期限であって、前記記録媒体制御手段は再生出力毎に前記計時手段の時刻情報を観視すると共に、当該時刻情報が有効期限を超過する場合、対応するファイルの管理情報を無効にすることを特徴とする、請求項2に記載の情報記録再生方法。

【請求項5】 前記制限情報は再生出力操作の有効時間であって、前記記録媒体制御手段は再生出力毎に前記計時手段により計測された経過時間を累積すると共に、当該累積した時間が有効時間を超過する場合、対応するフ

ファイルの管理情報を無効にすることを特徴とする、請求項2に記載の情報記録再生方法。

【請求項6】 前記制限情報は転送出力操作の有効回数であって、前記記録媒体制御手段は転送出力毎にその転送出力回数を累積すると共に、当該累積回数が有効回数を超過する場合、対応するファイルの管理情報を無効にすることを特徴とする、請求項2に記載の情報記録再生方法。

【請求項7】 前記制限情報は転送出力操作の有効期限であって、前記記録媒体制御手段は転送出力毎に前記計時手段の時刻情報を観視すると共に、当該時刻情報が有効期限を超過する場合、対応するファイルの管理情報を無効にすることを特徴とする、請求項2に記載の情報記録再生方法。

【請求項8】 前記制限情報は転送出力操作の有効時間であって、前記記録媒体制御手段は再生出力毎に前記計時手段により計測された経過時間を累積すると共に、当該累積した時間が有効時間を超過する場合、対応するファイルの管理情報を無効にすることを特徴とする、請求項2に記載の情報記録再生方法。

【請求項9】 情報が記録された記録媒体と、該記録媒体に記録されたファイルを管理するファイル管理手段と、該ファイル管理手段に基づいてファイルに関する一覧情報を表示する表示手段と、該表示手段の表示内容に基づいて転送出力するファイルを選択する出力選択手段と、該出力選択手段に基づいて前記ファイル管理手段を観視すると共に前記記録媒体を制御する記録媒体制御手段と、情報記録再生装置に接続する転送入出力端子と、該転送入出力端子に前記記録媒体制御手段から伝送されるファイルを出力する転送制御手段と、前記記録媒体制御手段が転送出力時の時刻をファイルに付加するために時刻を計測する計時手段とを具備して構成することを特徴とする情報提供装置。

【請求項10】 情報が記録された記録媒体と、該記録媒体に記録されたファイルを管理するファイル管理手段と、該ファイル管理手段に基づいてファイルに関する一覧情報を表示する表示手段と、該表示手段の表示内容に基づいて転送出力するファイルを選択する出力選択手段と、該出力選択手段に基づいて前記ファイル管理手段を観視すると共に前記記録媒体を制御する記録媒体制御手段と、情報記録再生装置に接続する転送入出力端子と、該転送入出力端子に前記記録媒体制御手段から伝送されるファイルを出力する転送制御手段と、前記記録媒体制御手段が転送出力時の時刻をファイルに付加するために時刻を計測する計時手段とを具備して構成した情報提供装置において、該情報提供装置の記録媒体制御手段により、記録媒体か

ら読み出したファイルに、情報記録再生装置からの読み出し操作を制限する制限情報を記録すると共に、記録された制限情報に基づいて、前記情報記録再生装置による前記記録媒体からの情報の読み出しを制限することを特徴とする情報提供方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は情報の違法コピーを防止しながら情報の共有および伝達を行う場合に用いて好適な情報記録再生方法とその装置、および情報提供方法とその装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正内容】

【0021】

【発明が解決しようとする課題】従って本発明は、情報の性質に応じて再生操作やコピー操作に制限を加え、目的の範囲において著作権の使用を可能にした情報記録再生方法とその装置、および情報提供方法とその装置の提供を目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正内容】

【0025】前記制限情報は再生出力操作の有効回数、有効期限、有効時間、および転送出力操作の有効回数、有効期限、有効時間であって、前記記録媒体制御手段はこれらの制限情報を観視することにより、この制限情報を越える場合は対応するファイルの管理情報を無効にする情報記録再生方法を提供する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0030
【補正方法】削除
【手続補正10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】削除
【手続補正11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0069
【補正方法】変更

【補正内容】
【0069】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明の情報記録再生方法とその装置および情報提供方法とその装置によると、様々な情報を情報提供装置から個人の所有する情報記録再生装置に転送する際、その情報の性質に応じて再生やコピー等の操作を制限する回数や時間等に関する制限情報をその情報に付加することにより、情報の違法コピーを防止すると共に、情報の共有や伝達を行うことが可能である。